

日時：令和6年6月24日 13時30分～15時30分
参加者：高松市立亀阜小学校5年生 99名
協力：全国脊髄損傷者連合会香川県支部
社会福祉法人高松市社会福祉協議会
ことでんバス株式会社

① 車いす利用者疑似体験

車いすを自分で操作し、街中の段差を再現した障害物を乗り越える体験をしました。体験の後は、講師の先生に車いすでの生活についてお話いただき、熱心に質問したり、耳を傾けたりしていました。



② 視覚障がい者疑似・介助体験

アイマスクを着用した当事者役とサポート役の二人一組となり、校内の廊下を歩く体験をしました。馴染みのある場所でも不安でしたが、段差や坂の手前で声掛けをしてもらうことで安心できました。



③ バスの乗り方教室

校内にバスを乗り入れていただき、基本的な乗車体験について学んだほか、バスのバリアフリー設備についても学習しました。バス車両に備えられたいろいろな設備に興味津々でした。



児童の皆さんから頂いた感想

- ・この勉強で目が不自由な人や足が動かない人が、気持ちよく過ごせるには、どうしたらいいんだろうと考えようと思いました。
- ・勇気がとてもいると思うけれど、どうがいの者の方に声をかけ、自分ができるところを行動へつなげたいです。
- ・この体験でふだんから考えたことのないことについてバリアフリー体験でたくさん考えて勉強できてよかったです。
- ・この体験を友達や家族などの周りの人に教えたいです。



この教室を通して考えたことの作文もいただいたびよ!

